（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	特定非営利活動法人ＳＵＮクラブひまわり　　放課後等デイサービス事業所なかま			
○保護者評価実施期間	令和６年　１２月　１日		～	令和６年　１２月　２０日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	１７人	（回答者数）	１６人
○従業者評価実施期間	令和６年　１２月　１０日		～	令和６年　１２月　１１日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	８人	（回答者数）	８人
○事業者向け自己評価表作成日	令和６年　１２月　２７日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・１０人定員のため、子ども一人ひとりにていねいに関わることができるところ。	・子ども一人ひとりの強い特性や発達段階、発達過程から見られる行動に対して、寄り添ったり、あえて距離を置いたり、じっくり話をしたり、じっくり関わるようにしています。今子どもが求めていること、どんな支援が必要か見極めながら、毎日を取り組んでいます。できるだけていねいな支援を意識しています。	・これからも継続していきたいところです。 ・必要に応じて、保護者の方ともしっかりやりとりをしながら、お子さんにとって必要なことを一緒に考えていきたいと思います。
2	・満足度の項目は、比較的高評価をいただけていました。また安心感や満足感を子どもたちに感じてもらえることはうれしいです。	・多感な時期の子どもたちなので、できるだけ職員はゆったり構えるようにしており、子どもたちに威圧感を与えない雰囲気作りをしています。 ・子どもたちの意見を聞くことも多く（活動内容や日常的な動きの中でもどうしたいかなど）、自分の気持ちを尊重されている気持ちは感じていただけているかもしれません。	・これからも継続していきたいところです。 ・しかし「楽しんで通所しているか」の項目で、「どちらともいえない」を選んでいる方も数名おられました。そのように感じているお子さんがいることを意識しながら、今後の活動の内容を考えていかねばならないと思っています。１番はお子さんが楽しんで通所できていることが保護者の方々の安心にもつながると思いますので。
3	・活動の中で、昼食クッキングやおやつクッキングを多く取り組んだり、自分たちで歩いて、買いに行くことも多くあります。	・子どもたちの今後の自立の力につなげたり、作って食べる楽しみにつなげる目的で、土曜日や長期休暇には、「クッキング」を行います。一人ひとりの力を見ながら、任せたり、介助をしたりしながら取り組んでいます。 ・自分たちで近くのスーパーや弁当屋に歩いていき、自分が食べるものは自分で調達することを目指しています。お店では、予算内で自分が食べたい物を選ぶことや好きなものを食べられる幸せを感じる感覚も大事にしています。 ・保護者の方の負担軽減の目的もあります。	・子どもたちが毎回楽しみにしている活動です。継続しながら、子どもたちの自立に向けたスキルアップや選択できることの喜びを感じたり、自分形成の時間にしていきたいと思います。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域とのつながりが薄いところ。	・子どもたちにたくさんの経験をという思いから、地域の公共の資源を利用することは多いのですが、事業所のお子さんたちのことや事業所のことなどを知っていただけていないことを感じます。 ・コロナ禍以降から、大きくチャレンジすることもなくなっていました。 ・活用できる地域資源の研究もできていませんでした。	・子どもたちの強み（運動・製作など）を生かした取り組みもしていきたいと考えてたいです。 ・地域の方になかま事業所にも来ていただけるような取り組みもしたいと考えています。
2	・家族支援の不十分さ。 高校卒業後の就労先に関して。	・卒業後の就労先を悩まれる保護者が多い中、話をお聞きするだけでアドバイスなどが上手くできていないことを感じています。 ・親子共に「学校」の存在が大きくあり、学校の面談等で家族支援もしていただいている印象があるため（保護者の方の話から）、遠慮をしている部分もあります。	・ご家族の話をていねいに聞き取っていき、必要な支援は何か考えていきたいです。 ・特に高校生に関しては、卒業後の就労先に悩まれる保護者も多くおられるので、学校との連携も必要になってくるかと考えています。
3	・活動スペースの確保。	・比較的今のお子さんたちは、ゆっくりしたい、自由でいたい希望が多いのですが、本人支援の部分では、しっかり体を動かしてほしい課題のお子さんも多いので、室内で動くには限界があります。	・庭や近くの公園を利用しての窮屈さの改善は意識していきたいです。